

11. 環境への関心

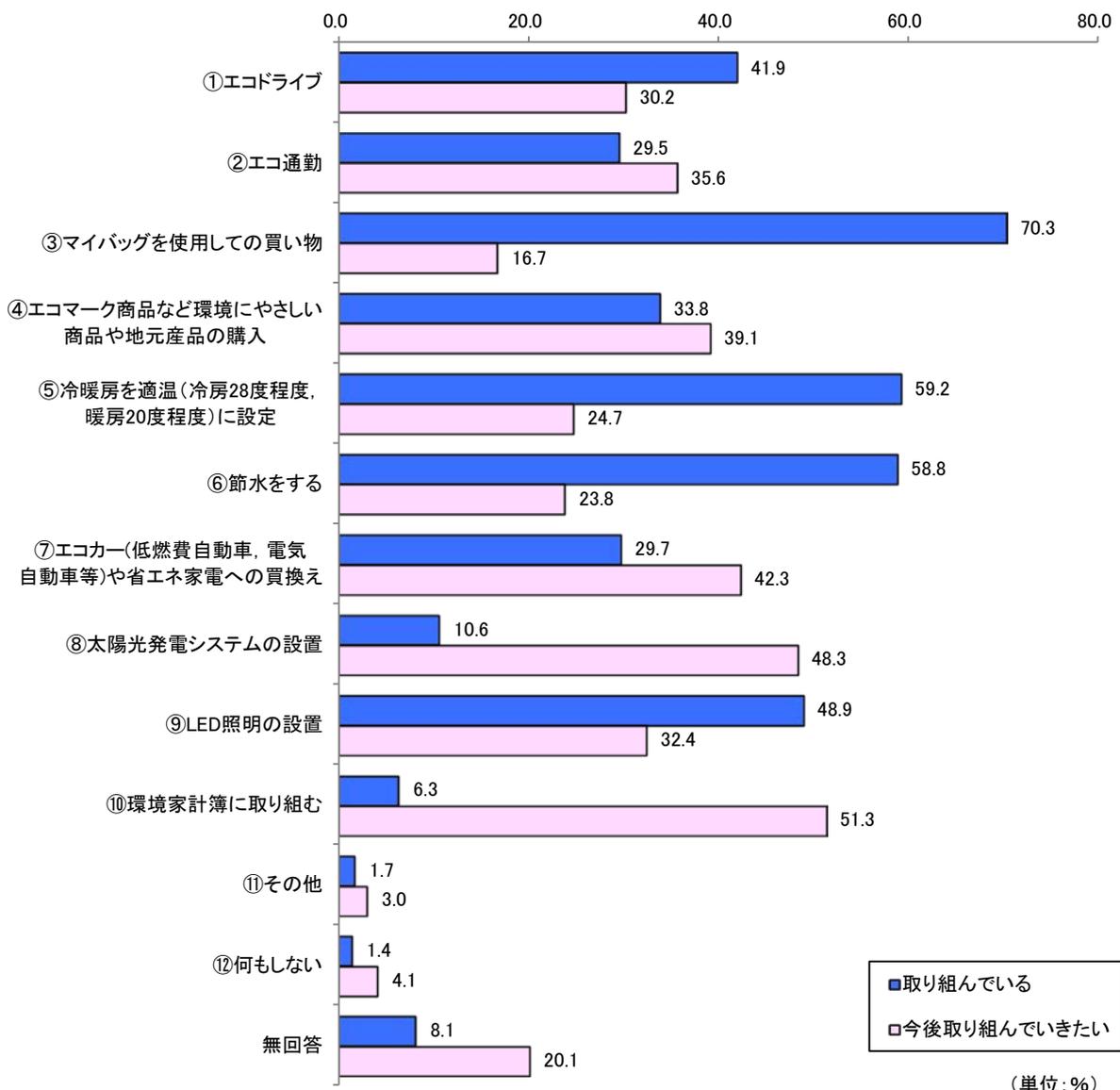
(1) 地球温暖化防止のための省エネルギー対策として取り組んでいること、今後取り組んでいきたいこと

問 32 あなたが、地球温暖化防止のための省エネルギー対策として取り組んでいること、今後取り組んでいきたいことは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)

**取り組んでいることは
マイバッグ・冷暖房の適温化・節水が上位
取り組んでいきたいことは
環境家計簿・太陽光発電・エコカーや省エネ家電への買換えが上位**

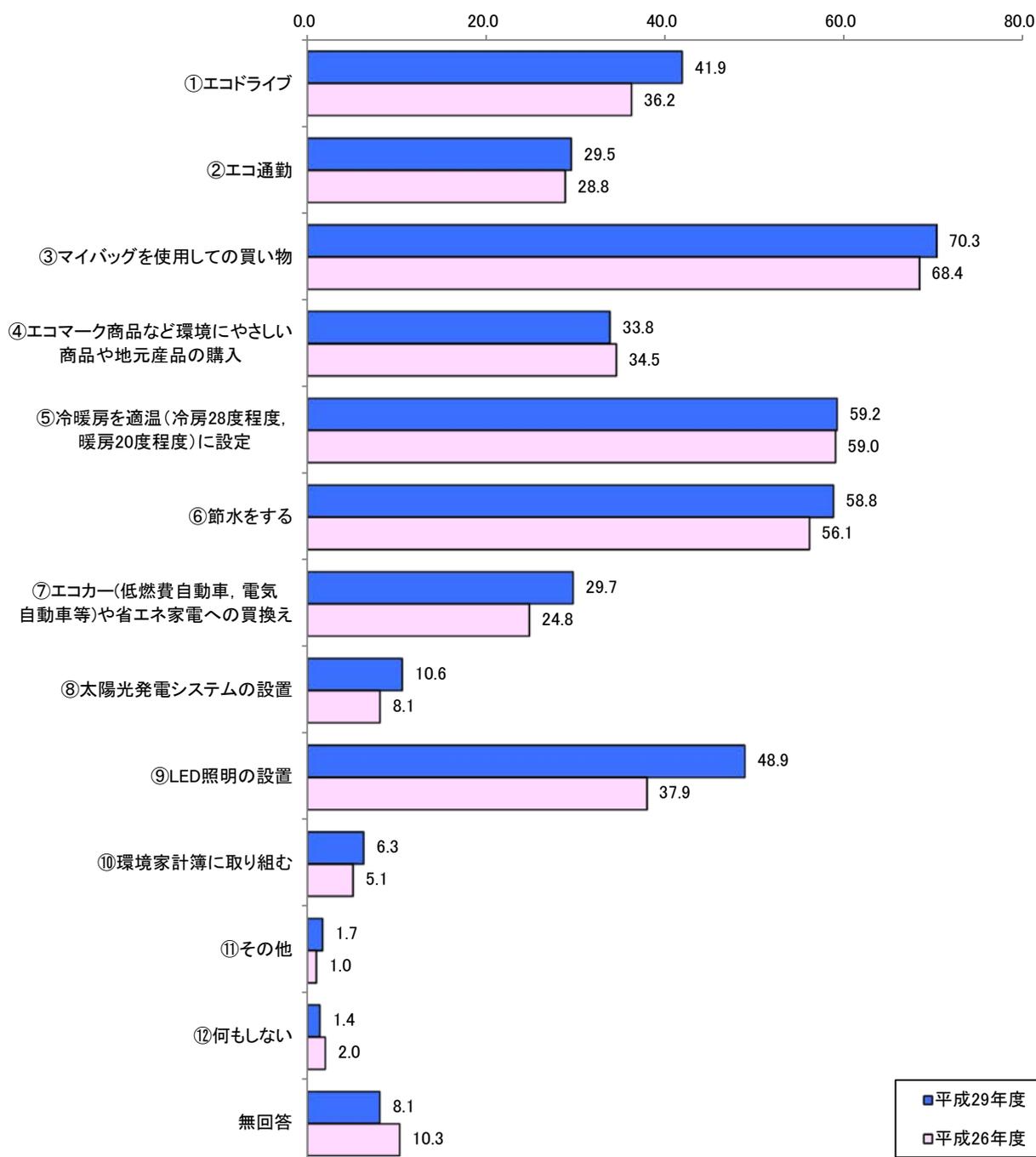
地球温暖化防止のための省エネルギー対策として取り組んでいることは、「マイバッグを使用するの買い物」と回答した割合が70.3%と最も高く、次いで「冷暖房を適温に設定」(59.2%)、「節水をする」(58.8%)となっている。

今後取り組んでいきたいことは、「環境家計簿」と回答した割合が51.3%と最も高く、次いで「太陽光発電システムの設置」(48.3%)、「エコカーや省エネ家電への買換え」(42.3%)となっている。



取り組んでいること

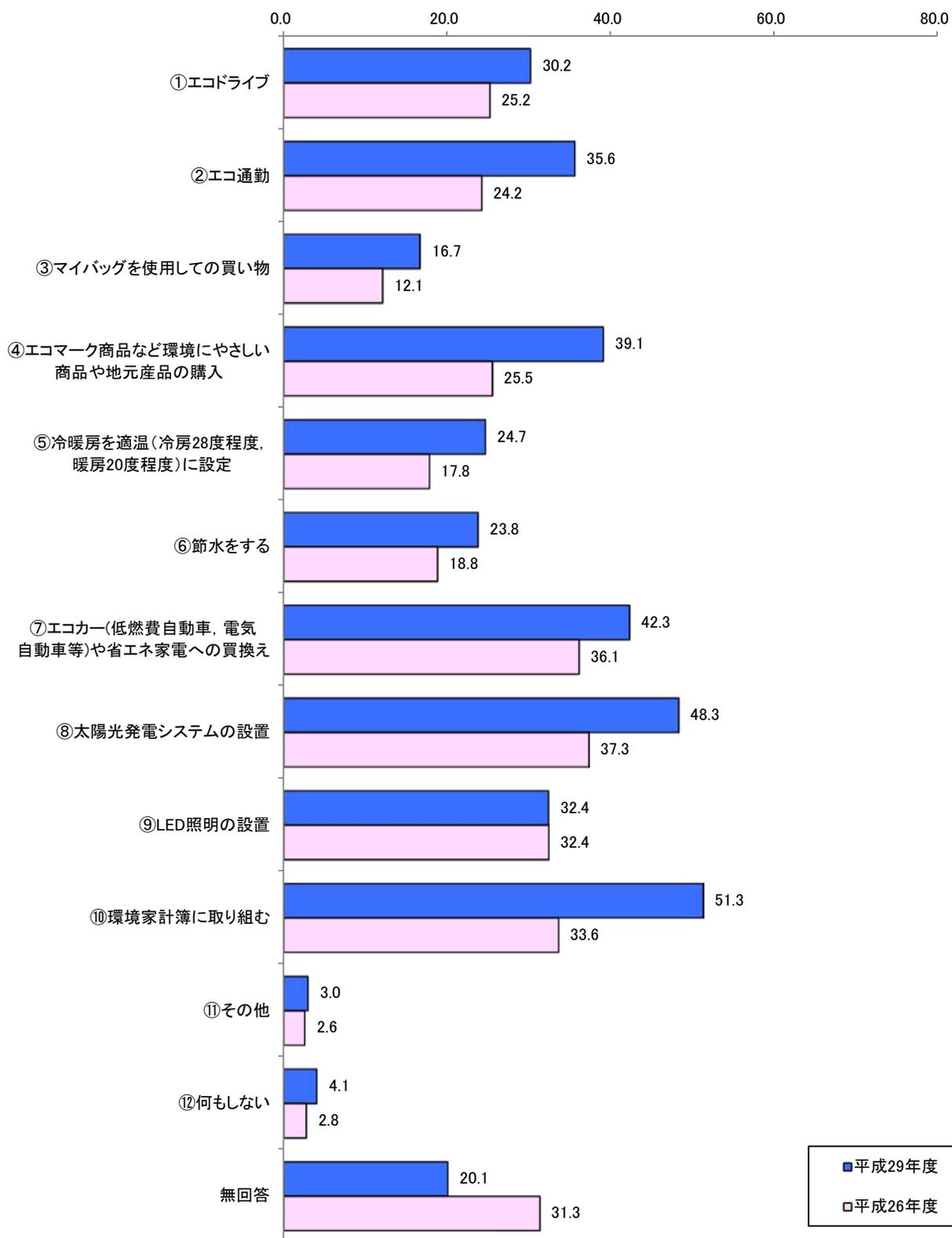
前回調査と比較すると、順位に大きな変動はないものの、「LED 照明の設置」は 11.0 ポイント、「エコドライブ」は 5.7 ポイント増加しており、省エネ対策商品や技術普及が取り組み実施の基盤となっていることがうかがえる。



(単位: %)

今後取り組んでいきたいこと

前回調査と比較すると、全般的に取り組む意欲が上昇しており、特に大きくより増加している項目は「環境家計簿」(17.7 ポイント増加)、「エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元産品の購入」(13.6 ポイント増加)、「エコ通勤」(11.4 ポイント増加)、「太陽光発電システムの設置」(11.0 ポイント増加)、「冷暖房を適温に設定」(6.9 ポイント増加)、「エコカーや省エネ家電への買換え」(6.2 ポイント増加)、「エコドライブ」「節水をする」(共に 5.0 ポイント増加)である。



(単位: %)

＜属性による比較＞

【生活圏別】

取り組んでいる省エネルギー対策について、広島地方生活圏は他の生活圏と比べて取り組む割合が高く、「太陽光発電システムの設置」を除く全ての項目で最も高くなっている。中でも「エコ通勤」(35.2%)は他の生活圏と比べて18ポイント以上、「LED照明の設置」は7ポイント以上、「エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元製品の購入」は6ポイント以上高くなっている。備北地方生活圏は「太陽光発電システムの設置」(16.0%)が他の生活圏と比べて高くなっている。

今後取り組んでいきたい省エネルギー対策について、備後地方生活圏は「エコ通勤」(44.8%)、「エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元製品の購入」(43.6%)、「LED照明の設置」(37.8%)、「マイバッグを使用する」(28.0%)は他の生活圏と比べて高い。

「太陽光発電システムの設置」は広島地方生活圏(48.7%)と備後地方生活圏(49.1%)が半数近くと高い一方で、備北地方生活圏(33.2%)は最も低い(取り組みは最も高い)。「環境家計簿」は広島地方生活圏(52.3%)と備後地方生活圏(50.0%)が半数と高い一方で、備北地方生活圏(40.0%)は最も低い。

【性別】

取り組んでいる省エネルギー対策について、男性は「エコドライブ」(47.0%)が女性(37.6%)と比べて9.4ポイント高い。女性は男性と比べて「マイバッグを使用する」(78.4%)、「エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元製品の購入」(42.0%)、「冷暖房を適温に設定」(65.3%)、「節水をする」(63.6%)が10ポイント以上高く、「エコ通勤」(33.6%)、「LED照明の設置」(52.4%)は7ポイント以上高くなっている。

今後取り組んでいきたい省エネルギー対策について、男性は女性と比べて「マイバッグを使用する」(23.4%)が10ポイント以上、「エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元製品の購入」(44.1%)、「冷暖房を適温に設定」(28.4%)、「太陽光発電システムの設置」(51.2%)、「LED照明の設置」(35.3%)は5ポイント以上高くなっている。

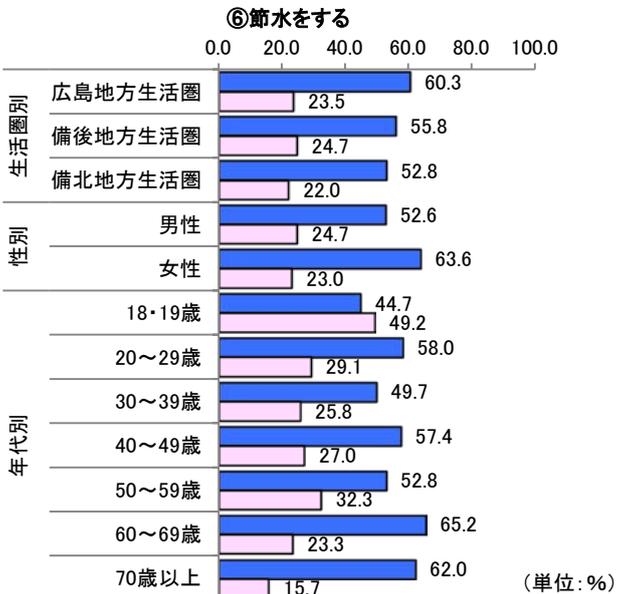
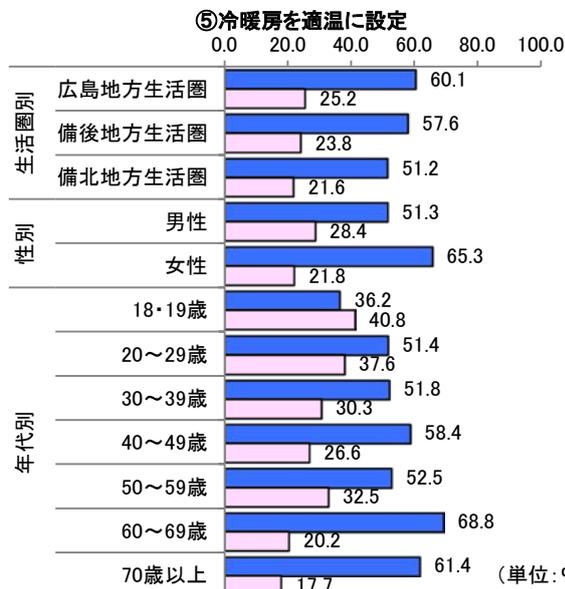
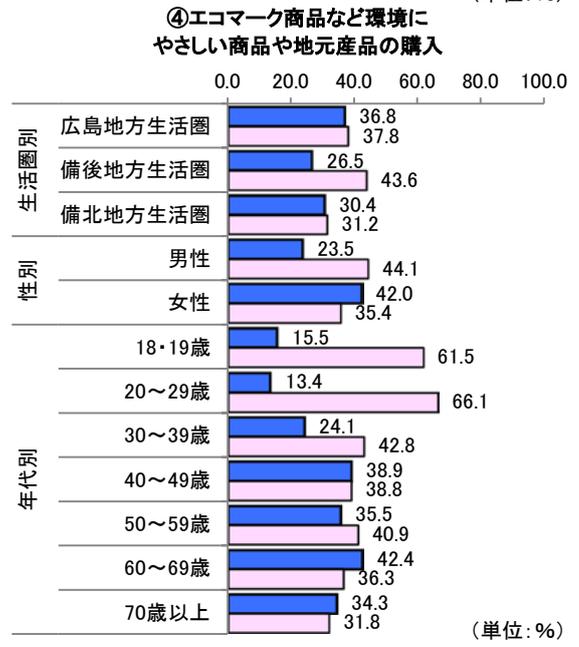
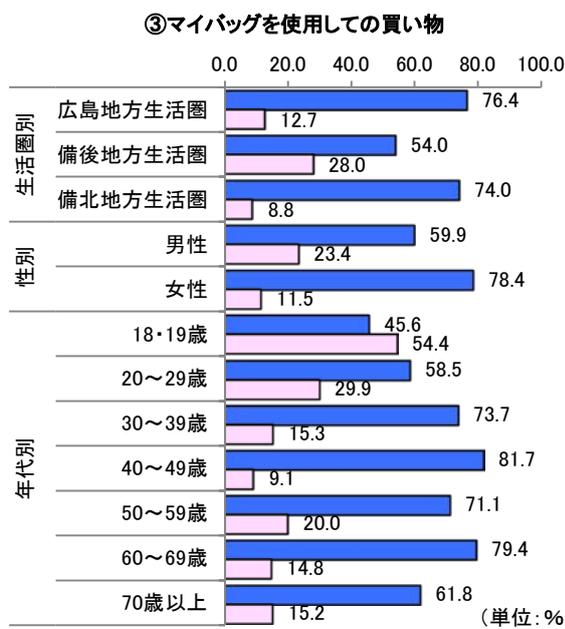
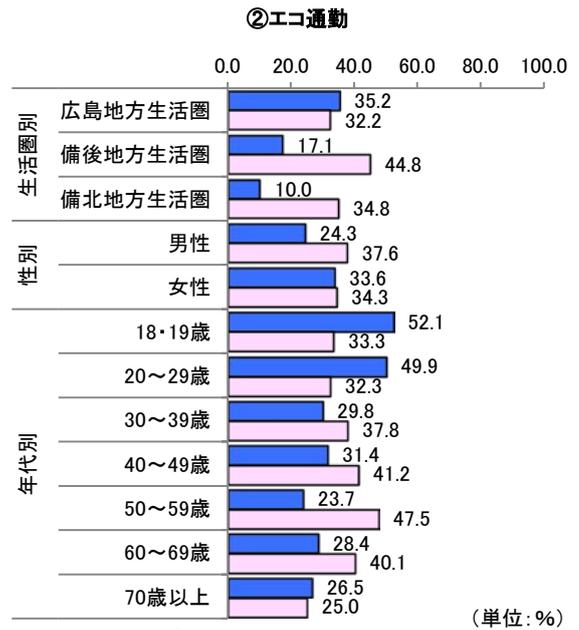
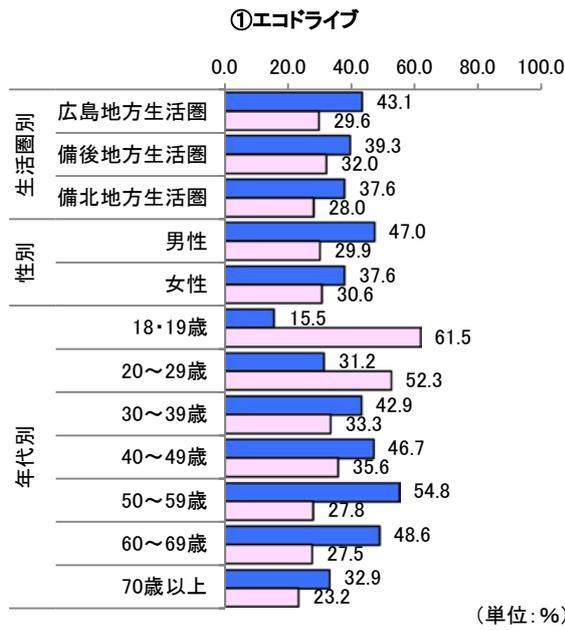
【年代別】

取り組んでいる省エネルギー対策について、「エコドライブ」は50歳代(54.8%)、「マイバッグを使用する」は40歳代(81.7%)と60歳代(79.4%)、「エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元製品の購入」、「冷暖房を適温に設定」は60歳代(42.4%, 68.8%)が他の年代と比べて高く、「エコ通勤」は20歳代以下、「節水」は60歳代以上、「エコカー」は40～60歳代、「太陽光発電システムの設置」は30～40歳代が他の年代と比べて高くなっている。

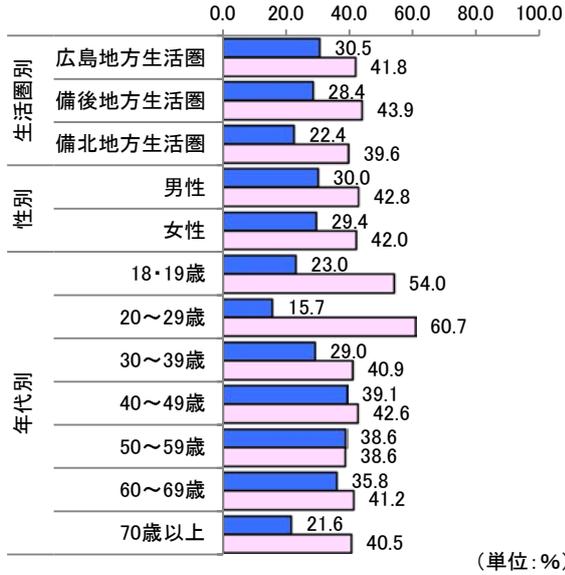
今後取り組んでいきたい省エネルギー対策について、全体的に20歳以下の割合が高い傾向にある。中でも「エコドライブ」、「マイバッグを使用する」、「エコマーク商品など環境にやさしい商品や地元製品の購入」、「冷暖房を適温に設定」、「エコカーや省エネ家電への買換え」、「太陽光発電システムの設置」は他の年代と比べて高くなっている。

地球温暖化防止のための省エネルギー対策として取り組んでいること、今後取り組んでいきたいこと
 (生活圏, 性, 年代別)

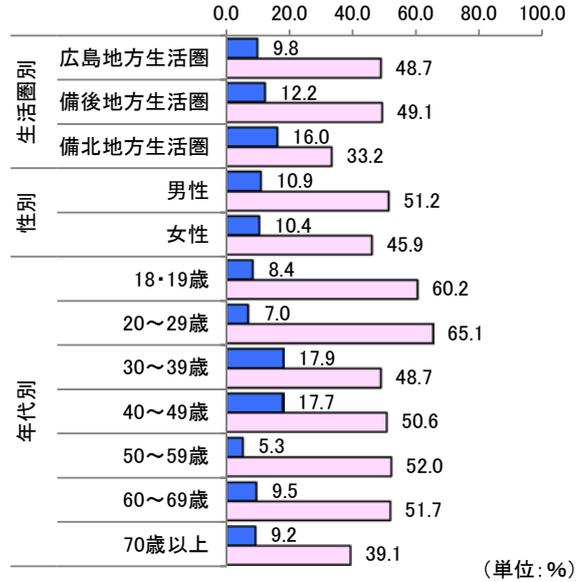
グラフ上段: 取り組んでいる 下段: 今後取り組んでいきたい



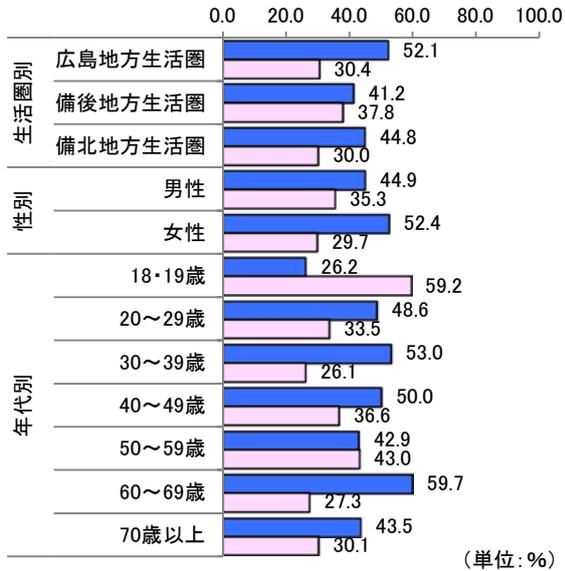
⑦エコカーや省エネ家電への買換え



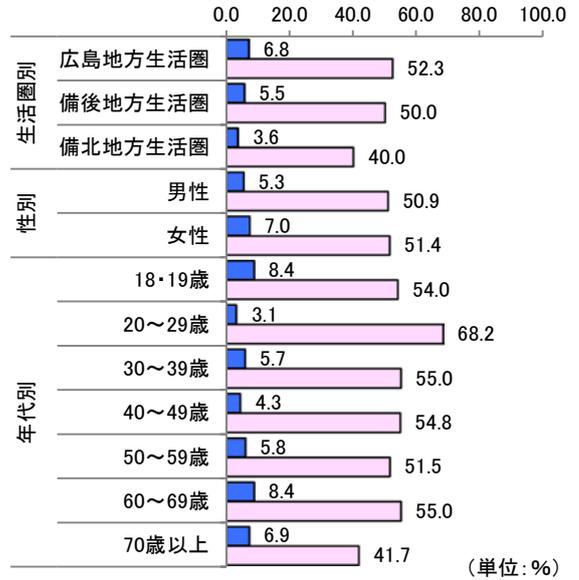
⑧太陽光発電システムの設置



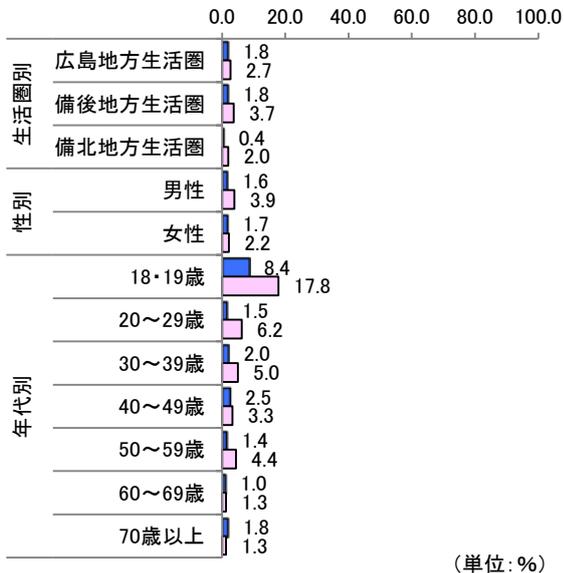
⑨LED照明の設置



⑩環境家計簿に取り組む



⑪その他



⑫何もしない

